

## 令和7年度第2回 釧路方面厚岸警察署協議会議事概要

### 【開催日時】

令和7年11月14日（金） 午前10時0分から午前11時30分まで

### 【開催場所】

釧路方面厚岸警察署 大会議室

### 【出席者】

協議会委員	5人（定員5人）
会 長	加 川 裕 之
副 会 長	山 口 由 紀
委 員	山 口 政 子
	湊 谷 弘
	泉 谷 豊

警察署員	5人
署 長	大 谷 秀 明
副 署 長	小 澤 暢
地域・交通課長	齊 藤 誉
警備係長	
警務係長	

### 【開催状況】

#### 1 会長 挨拶

#### 2 署長 挨拶

#### 3 協議事項

- (1) デジタル世界の防犯対策（サイバーセキュリティ対策本部によるリモート教養）
- (2) 災害対策

#### 4 以前の警察署協議会において委員から提言された要望に対する取組結果

##### 【委員からの要望】

東日本大震災が発生した時、道の駅コンキリエ前の道道を避難者の車両が多く走行していたため、側道から走行してきた車両が道道へ合流できない状況が続いたことを記憶している。

胆振東部地震が発生した時にも、避難者の車両が多く走行しており、メインの道路に出られず大変困ったことを経験した。

災害発生時、警察官を配置して交通整理をすることが必要なのではないかと思いますので、自治体や警察が一体となって最善の方法を検討し、有事の際には活動してほしい。

##### （警察の取組結果）

これまでは、災害発生時には主要交差点での交通整理を想定していたが、協議会における委員からの提言を受け、協議会終了後の2月から署内での検討を開始し、住民が円滑に避難できるよう、交通整理箇所の見直しを図り、避難場所付近の合流地点などに警察官を配置することとした。

その結果、令和7年7月30日に津波警報が発令された際には、見直した配置箇所における警察官の誘導により円滑な避難が実施された。

#### 5 協議事項に関する委員からの質問

##### (1) 【委員からの質問】

昨今のディープフェイク技術はAIを活用して現実と見分けがつかず、悪用されないためにも早急な法律、規制の整備が必要だと感じている。

これまでに何か関連する事案があれば教えてほしい。

##### （警察の回答）

現在までのところ、北海道内ではディープフェイク動画を使用した被害の届出は認知していないが、犯罪として想定されるのは、名誉毀損やわいせつ物頒布等が挙げられる。

(2) 【委員からの質問】

サイバーセキュリティ関係ではどのような広報をしているか。

(警察の回答)

北海道警察では、警察本部や各警察署のホームページ、さらには、ほくとくん防犯メールで、実際に発生した事例等の情報発信をしているほか、電話やホームページを通じて申込みを受け、出前講話やオンライン講話を実施している。

6 協議事項に関する委員からの要望・意見

(1) 【委員からの意見】

地震があった際には、避難場所である道の駅コンキリエヘー斉に車が集まり混雑することが危惧されていたが、本年7月30日の津波警報の際には警察官が配置され、円滑な誘導が行われていた。

(2) 【委員からの意見】

津波警報の際、湖南地区では愛冠岬に避難する人が多かったが、その途中で車を止めて海を見ている人がおり、交通に支障が出ていたと聞いている。

混雑を防ぐため、警察官を配置して誘導することはできないだろうか。

(警察の回答)

この件については通報で警察も認知しており、現場臨場して車両を移動させた。

(3) 【委員からの意見】

津波の際には、役場と警察の機能移転先が湖北地区の消防本部となっており、消防も執務時間中であれば消防本部に人員が集中するため、湖南地区には人員が少なく不安がある。

(警察の回答)

地震発生後に津波が到達するまでの猶予は僅かであるため、その短時間で警察として何が出来るか考え、効果的な対応について検討していきたい。

7 次回開催予定

令和8年2月頃を予定。

令和7年 月 日

会 長

印

令和7年 月 日

委 員

印